

両角研OGOB's 勉強会 38th

KJ法 再入門

- フィールドから発見し、構造化する -

2024/10/01

本日の予定

1. 目的
2. KJ法の説明
3. 各自の抱えている課題等

演習の目的

- **KJ法**は、文化人類学者の川喜田二郎氏が、フィールドワークから得られた膨大な収集データの整理を行うために開発された手法と言えます。
- 広い意味でのデザイン行為も、実際の生活や起業活動を対象に複雑な問題の解決を行うことを目的としているので、共通した背景を持っていると言えると思います。
- 自分の抱えている課題を**KJ法**を通じて考え、まとめる・解決方向を考えてみることを実行してみましよう。

KJ法の説明（1）

KJ法の発想の原点には、今西学派の特徴である未知への冒険精神と、生きた世界に実践的に関与しながら認識するという根本姿勢があった。

方法論の基本的特徴には、次の6点があげられた。

- 1) 現場取材と創造的総合の二つからなるフィールド科学。
- 2) ありのままのデータからボトムアップで認識する方法論。
- 3) フィールドノートではなくカード記述によって自由で多様な組み合わせの可能性。
- 4) 意味を重視した文章見出しの多段階使用。
- 5) 雑多なデータを図解化によって統合。
- 6) 図解化と言語化による提示と衆目評価による合意形成。

- 質的心理学研究 第2号／2003／No.2／6-28
- KJ法の原点と核心を語る — 川喜田二郎さんインタビュー

KJ法の説明（2）

KJ法（親和図作成）ってどうやるの？ By 上平先生

皆さんの課題